



編集 SEF 事務局
 連絡先 080-8865-0951
 URL <http://sef-jpn.org>

巻頭のことば 「高齢化社会」 **理事 松浦 直樹**

歳を重ねるにつれ、高齢化にかかわる言葉がやたら目に付くようになってきました。
 ポジティブ、ネガティブ 両方ありますが、やはりマスコミも高齢者には批判的であるのかネガティブな傾向が強いと感じられます。「老人力」という余裕のある言葉もありましたが、「暴走老人」、「下流老人」(いずれも本の題名)になると社会問題化して来ています。「耳順(60 歳)、従心(70 歳)」とは言われますが、これもかつてのよき時代の目標・理想なのでしょう。高齢化には個人差が大きく成長期の子供達と同じく年齢で区切ることは出来ませんが、65 歳以上 1 人に対して現役世代(15~64 歳)2.4 人という統計値をみると社会の中で大きな課題となっていることは明白でしょう。藤原智美氏(暴走老人著者)は、説明は省略しますが、従来と違って時間・空間・感情の切り口で社会に適合できなくなってくる高齢者を分析し、「新老人」とも言われる新たな造語を作り、その原因の一つにコミュニケーションの変質を挙げていますが、都市生活者には大変な問題だと思われます。まだ先の事かもしれませんが、現状・将来に対しどう対処していくのか? 社会とのコミュニケーションをどうしていくか? 当面の問題であり、少し先の課題でもあるのでしょうか。

7 月度 第 167 回理事会報告

《第 167 回理事会》	5. 会員増 PJ の件	→報告了承	
1. リンカーズとの「コーディネーター業務に関する覚書」の件	→可決承認	6. ビジネスチャンスナビ 2020 登録の件	→報告了承
2. 賛助会員入会の件	→可決承認	7. HP 更新予定の件	→報告了承
3. 日本エマソン社の教育口座講師の件	→可決承認	8. GS 部 1Q 活動報告の件	→報告了承
4. 理事会運用の件	→可決承認	9. 東京都届出書類の收受確認の件	→報告了承
		10. 6 月会員交流会議事録の件	→報告了承
		11. H29 年 6 月会計収支報告の件	→報告了承

事業報告 コミュニケーション研究会 **担当理事 長本啓壮**

7 月末現在の陣容は、小泉会員、佐立会員、玉木会員、平田会員、松井会員、長本の 6 名で、定例会は通算 128 回開催しました。毎回、神田明神門前のそば屋「きやり」に集まっております。併せて合宿も実施しており、直近は昨年 11 月に神奈川県箱根町に於いて一泊二日の日程で第 15 回(第 121 回定例会を兼ねる)を開催しました。合宿は会員相互のコミュニケーションを高める上でも非常に有意義は会合となっております。第 16 期の活動は、第 8 次テーマとして『日本人のこころ』を中心に、研究員それぞれがそれらに関する思い・考えを自由な発想で纏めると云うもので、形式は論文、エッセイ等、研究員が各自で選択することになります。現在、「日常生活の中での日本人につながるおもい」、「日本人について考えたこと」、「禅と写経を通じて考える」等々の案が提案されており今後審議を重ねることとなります。これらは 16 期中に纏め、通例通り HP に掲載、小冊子製本、及び会員への配布を行います。
 又、SEF15 年史への原稿提出も行っており、「コミ研の設立趣旨」、「年度別活動内容」、「各研究員のコミ研との関わり」、等を作成しております。

SEF サロン 第 100 回報告 第 101 回案内 **担当理事 白崎善宏**

《 第 100 回:報告 》7 月 26 日実施
 講師:小宮 希美氏 (株)ビザスク VQ 事業リサーチマネージャー、元内閣官房副長官補付
 演題:「北朝鮮の最近の動向及び我が国の防衛」
 記念すべき第 100 回の講演を今話題の北朝鮮問題について、今年の 4 月まで元内閣官房副長官補付で勤務されていた小宮氏にお願いしました。北朝鮮での弾道ミサイルの開発状況と特に飛行距離、さらに我国の政府・防衛省の防衛体制についてのお話がありました。加えて、政府の一員としてこうした事態処理・危機管理を担当された時の厳しい勤務形態を含めた経験のお話がありました。政府・防衛省・地方行政組織等の関係の方が日頃地道な努力をされていることが痛感されました。ご出席の方の北朝鮮問題への関心も強く、質問・懇談が続き有意義なサロンでした。
 《 第 101 回:案内 》
 日時:2017 年 9 月 27 日(水) 18 時 場所:青学会館内アイビーホール 1F「フェリア」
 演題:「未定」 講師:未定

7 月度会員動向

会員入退会	8 月 1 日 会員数
賛助会員入会 日本エマソン株式会社 8/1 入会	正会員・31 名、準会員・35 名、賛助会員・3 社